

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 武雄市社会福祉協議会

1. 事業の概要

「お互いさまと言えるあたたかいまちづくり」を基本理念に、関係機関、関係団体、ボランティア、市民のみなさまのご協力を得て福祉事業の企画、実践に取り組んだ。

老人福祉センターの運営は、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、高齢者の方の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。

また、関係機関と連携をとり、生活にお困りの方やコロナの影響を受けて収入が減少された方などの相談や支援を行った。

中止した行事もあるが、参加方法や開催方法を工夫して出来る限り実施に努めた。

2. 社会福祉協議会会務の運営

【1】役員会（理事会・監事会）の開催

(1) 理事会

①第1回理事会：令和3年6月8日（火）10：00～

議事

- ・令和2年度事業報告
 - ・令和2年度決算
 - ・評議員選任候補者の推薦
 - ・令和3年度定時評議員会の開催
- 報告事項
- ・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第8回）
 - ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

②第2回理事会：令和3年6月23日（水）13：30～

議事

- ・会長の選任
- ・副会長の選任
- ・常務理事の選任

③第3回理事会：令和4年3月17日（木）10：00～

議事

- ・令和4年度事業計画
 - ・令和4年度当初予算
 - ・令和3年度第2回評議員会の開催
- 報告事項
- ・会長専決事項の報告（令和3年度補正予算 第1回）
 - ・会長専決事項の報告（令和3年度補正予算 第2回）
 - ・会長専決事項の報告（令和3年度補正予算 第3回）
 - ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

(2) 監事会

①第1回監事会：令和3年5月20日（木）10：00～16：00

監査事項

- ・令和2年度武雄市社会福祉協議会会計の諸表

②第2回監事会：令和3年11月2日（火）10：00～16：00

監査事項

・令和3年度武雄市社会福祉協議会上半期会計の諸表

【2】評議員会の開催

- (1) 定時評議員会：令和3年6月23日（水）10：00～
議事
・令和2年度事業報告及び決算
・理事及び監事の選任
報告事項
・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第8回）
- (2) 第2回評議員会：令和4年3月25日（金）10：00～
議事
・令和4年度事業計画及び当初予算
報告事項
・会長専決事項の報告（令和3年度補正予算 第1回）
・会長専決事項の報告（令和3年度補正予算 第2回）
・会長専決事項の報告（令和3年度補正予算 第3回）

【3】評議員選任・解任委員会の開催

- 評議員選任・解任委員会：令和3年6月9日（水）10：00～
議事
・委員長・職務代理者の選任
・評議員の選任

【4】社協会員の加入促進

市内全戸会員制度の意識高揚と財源確保を目的として、7月の募集月間に区長会並びに民生委員児童委員協議会のご協力を頂き加入促進に取り組んだ。多くの会費をお寄せいただいた。

	会員数	納入額（円）
一般会費（1口 400円）	14,290	5,716,000
賛助会費（1口 1,000円）	955	1,058,000
団体会費（1口 3,000円）	0	0
法人会費（1口 5,000円）	8	55,000
計	15,253	6,829,000

【5】社協広報誌の発行

「武雄市社協だより かがやき」を計6回（奇数月）作成し、社協活動・地域福祉活動の啓発を目的に市内全戸に配布した。

3. 老人福祉センター事業

【1】老人福祉センター運営事業「日輪荘」（市補助事業）

送迎バス「日輪号」を週4回（火・水・木・金）定期運行し利用者の便を図った。また、健康相談、民謡教室、謡曲教室、吟詠教室、囲碁例会などを開設し、高齢者の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。開館日数は202日で、利用状況は次のとおりである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
772	423	629	691	242	594	721
11月	12月	1月	2月	3月	計	
671	762	653	0	598	6,756人	

【2】老人福祉センター運営事業「長寿園」（市補助事業）

送迎バスを北方町内で定期運行し利用者の便を図った。また、高齢者の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。開館日数は202日で、利用状況は次のとおりである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
430	209	266	329	93	135	272
11月	12月	1月	2月	3月	計	
362	362	254	0	294	3,006人	

【3】老人福祉センター運営事業「さざんか荘」（市受託事業）

送迎バスを山内町で定期運行し利用者の便を図った。また、高齢者の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。開館日数は202日で、利用状況は次のとおりである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
267	180	247	249	85	240	267
11月	12月	1月	2月	3月	計	
283	282	255	0	215	2,570人	

※コロナ対策で休館：5/6・7

※大雨のため休館：8/12、8/17～8/20 ※災害支援のため休館：8/21～8/31

※台風14号のため休館：9/17

※コロナまん延防止のため休館：1/31～3/6

4. 生きがい対応型デイサービス事業（市受託事業）

介護保険の認定を受けていない高齢者で支援を必要とする方を対象として、「生きがい対応型デイサービス事業」に取り組んだ。利用者数は次のとおりである。

【1】湯遊くらぶ（武雄）

（単位：人）

	武雄	橘	朝日	若木	武内	東川登	西川登	計
R3年4月	82	24	42	30	77	42	10	307
5月	45	14	28	20	49	41	15	212
6月	73	16	53	35	65	48	14	304
7月	62	18	47	27	70	61	12	297
8月	25	5	23	11	15	14	3	96
9月	64	19	29	37	60	46	11	266
10月	68	18	37	31	78	63	14	309
11月	46	9	35	22	65	71	16	264
12月	61	26	20	27	67	49	12	262
R4年1月	60	11	42	27	69	28	6	243
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	52	9	44	32	58	39	7	241
計	638	169	400	299	673	502	120	2,801

【2】ふれあい（山内）

R3年4月	80
5月	44
6月	61
7月	64
8月	16
9月	58
10月	76
11月	64
12月	60
R4年1月	55
2月	0
3月	43
計	621

【3】やわらぎ（北方）

R3年4月	89
5月	70
6月	99
7月	85
8月	32
9月	61
10月	72
11月	78
12月	73
R4年1月	64
2月	0
3月	69
計	792

※コロナ対策で休館：5/6・7

※大雨のため休館：8/12、8/17～8/20 ※災害支援のため休館：8/21～8/31

※台風14号のため休館：9/17

※コロナまん延防止のため休館：1/31～3/6

5. 生活支援事業

【1】弁護士相談

佐賀県弁護士会の協力を得て、無料相談を計24回開催した。開催日及び会場は次のとおり。

本所 毎月第2木曜日 13:00～16:00（年12回）

山内支所 毎月第4木曜日 13:00～16:00（年12回）

【2】遺言・相続相談

遺言及び相続に関する相談を佐賀県行政書士会の協力を得て、無料相談を計12回開催した。開催日及び会場は次のとおり。

本所 偶数月第3木曜日 13:00～17:00（年6回）

山内支所 奇数月第3木曜日 13:00～17:00（年6回）

また、社協事務局でも各種相談を受け付けており、弁護士相談、遺言・相続相談での一年間の相談受付件数は次のとおりである。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
相談事項	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・医療	人権・法律	財産・相続	借金問題	金銭トラブル	事件・事故	老人福祉	児童福祉	障がい者福祉	ひとり親	苦情	その他	計
件数	163	1	0	9	4	2	5	0	2	22	2	5	2	1	1	0	0	1	18	238

【3】福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方を対象に、金銭管理、福祉サービス利用の手続きなどの支援を行った。令和3年度末の利用者数は38件（内新規11件、解約3件）、相談支援件数延べ2,091件の実績であった。

【4】避難行動要支援者調査事業（市受託事業）

災害時の要援護者への迅速な支援に備えるため、各要援護者宅へ出向き、訪問調査やニーズの収集をおこなった。調査件数は合計2,027件で内訳は武雄町594件、橘町110件、朝日町228件、若木町75件、武内町112件、東川登町75件、西川登町88件、山内町344件、北方町401件を訪問した。

【5】つなぎ生活費貸付事業

低所得者世帯に属し、生活上一時的に緊急な少額のつなぎ生活費を必要とする方を対象に、関係機関と連携を取りながら資金貸付を行った。令和3年度の貸付相談件数は106件、貸付件数50件、貸付金額は696,000円であった。

【6】県社協生活福祉資金貸付事務事業

県社協の委託により、低所得世帯や身体障がい者世帯の自立更进行を図ることを目的に資金貸付事務を行った。また、令和2年度より継続している新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付の実施により、相談窓口を開設し、令和3年度も引き続き申請の受付をおこなった。令和3年度の相談件数は347件、貸付件数は174件 総額60,040,000円（内訳：緊急小口資金74件 12,480,000円、総合支援資金43件、20,400,000円、総合支援資金(延長) 15件、7,610,000円、総合支援資金(再貸付)42件 19,550,000円であった。

【7】生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業・家計改善支援事業・就労準備支援事業）

武雄市の委託事業で、生活困窮者を対象に自立した生活に向け、関係機関と連携し相談業務を行った。令和3年度は、相談者数116名、支援申込件数74件、プラン作成件数25件（自立15件、家計7件、就労準備3件）であった。

【8】緊急生活支援

いのちをつなぐ糧事業では個人及び団体から65回、玄米、弁当、乾麺、缶詰、インスタント食品、レトルト食品等のご寄附を頂き、非常食と合わせ延べ176回食料を支援した。

6. 地域福祉活動事業

【1】地域福祉活動計画の推進

令和2年度から令和6年度版の年次計画に基づき実施目標を立てて事業に取り組み、評価を行いながら計画の推進に努めた。

【2】地区社協活動の支援

(1) 地区社協活動費の交付

地域の要望を踏まえ社協活動を強化し、それぞれの地域に応じた活動を行い、住民の福祉の増進を図るため、総額4,511,000円の地区社協育成費を交付し育成に努めた。

(2) 小地域ネットワーク活動推進事業（市受託事業）

地域に住む援助の必要な方々を中心に、周囲の人々が助け合い支え合って生活できる

支援体制づくりを実施。地区社協を核とし、民生委員の協力を得て見守り体制の強化に努めた。事業受託2年目となる今年度は、全町で取り組みはじめ、対象者計259名、協力員延べ558名が登録された。

(3) ふれあいいきいきサロン推進事業

高齢者の方々を対象に、地域の人々が助け合い生きがいをもって生活できるよう、地区社協を核とし、ボランティアの協力を得ながらサロンの設置に努めた。令和3年度は武内町の生活支援コーディネーターと協力し、特に武内町の新規サロン設置推進を行い、4サロンが新規に立ち上がった。また、各地区社協が主催するサロンの集いにサロンの運営に関する情報を提供した。3月末現在のサロン設置件数は134件(内新規8件、解散6件)。

(4) 家屋内ごみ片付け支援事業

自力による家屋内のごみ処理が困難で、地域から孤立し、希薄になった地域住民との繋がりを取り戻すことを目的として片付け支援を行った。相談支援1件(地区社協9名、市健康課3名、社協3名)で、当該地区社協へ支援交付金19,960円を助成した。

【3】各種福祉団体等運営費助成事業

市内で活動する9つの福祉団体に、総額2,561,650円の助成金を交付した。

【4】地域福祉活動事業の実施

(1) 認知症地域支援・ケア向上事業(市受託事業)

市受託事業で、住民や認知症サポーター、医師や介護の専門職など、さまざまな人・団体と連携、協力しながら認知症になっても安心して暮らせるように地域で支える体制づくりに取り組んだ。

① 地域において認知症の方を支援する関係者の連携を図る取り組み

ア) 介護事業所、病院、警察署、民生委員児童委員協議会、区長会、老人会など事業説明や協力依頼に58件訪問し説明を行った。

イ) キャラバン・メイト情報交換会を2回開催した。水害により開催できなかった1回の情報交換会は書面にて協議した。新たなメイトの方を迎え、どうしたら地域の方に認知症サポーター養成講座を受講してもらえるのかなど活発な意見が出た。

② 地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制を構築するための取り組み

ア) 在宅介護支援センター会議、地域ケア個別会議、第2層コーディネーター会議等に出席を予定していたが、コロナ禍により、市より人数制限を設けられた為、会議での情報交換は行えなかったが、認知症関連研修は、リモートも含み10件参加した。

イ) 地域から寄せられる認知症相談を市に繋げ、連携を図りながら、個別訪問を行った。認知症に関する相談件数7件 認知症に関する訪問件数2件

ウ) 認知症サポーター養成講座を実施した。認知症サポーター数を増やし、認知症の理解や見守りの支援をお願いした(開催件数—登録者数)

総数9件—548名(中学校6校—488名・それ以外3件—60名)

エ) 認知症カフェを開催した。名称を「オレンジカフェたけお」に変更

認知症に対する知識と理解を深めながら、誰もが気軽に参加できる「集いの場」として開催。武雄市内にある喫茶店に協力頂き、喫茶店内で行った。(日頃のストレス解消や悩みなどから解放され、喫茶店内のBGM・コーヒーの香りや味・カップの装飾の見た目や感触など五感で感じてもらう為)

武雄市内喫茶店2ヶ所で4回開催できた。

参加人数(1回目—5名・2回目—5名・3回目—5名・4回目—2名)合計参加人数17名

③ その他、認知症予防啓発活動の取り組み

ア) 市の出前講座に市民の方が気軽に認知症を学んでいただけるよう3つの講座を設けた。

- ・認知症予防講座 9回
- ・認知症サポーター養成講座～入門編～ 9回 (中学校開催も含む)
- ・認知症サポーター養成講座～実践編～ 1回

認知症出前講座合計回数 19回

イ) 認知症予防啓発DVD無料貸し出し・コピーを行い、介護事業所や協議体の勉強会での利用を紹介した。

- ・脳いきいき健幸体操DVDコピー 10枚

ウ) キャラバン・メイトによる寸劇制作・絵本朗読録音

- ・認知症寸劇～物盗られ妄想編～ 中学校で2校認知症サポーター養成講座で使用した。DVDコピー 23枚
- ・認知症に関する絵本を子供向けに、読み聞かせする目的で絵本2冊を朗読し録音を行う。

エ) 認知症予防啓発イベントとして、「おれんじハートフル上映会」～認知症老々介護を考える～を開催。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日程の延期と場所の変更もあり、パネルディスカッションは中止となるが、下記の内容で開催した。

日時 令和4年3月13日(日) 13:00～15:00 北方文化ホール

内容 認知症地域支援推進員活動報告
映画上映「ぼけますから、よろしくお願いします。」
認知症啓発標語受賞作品展示

参加者 118名

(2) 地域福祉を考える会

地域を支える一員であるボランティアの方と、出前講座により新型コロナウイルスによる差別のない地域について考え、また今後の地域包括ケアシステムといった新しい事業にボランティアとしてどう取り組むか協議する目的で実施した。

期日 令和4年1月14日(金) 10:00～11:20

会場 武雄市社会福祉協議会 2階大会議室

内容 日赤佐賀県支部による出前講座・各町ボラ連会員による座談会

対象者 武雄市ボランティア連絡協議会 会員

参加者 25名

(3) 共生型ふれあい交流事業

コロナ禍のため一同に集まった交流が難しく、障がい当事者と学生ボランティアで壁紙の共同制作を行った。完成作品は、武雄市役所1階市民ホールにて1週間展示後、共同制作者である武雄看護リハビリテーション学校にて1ヶ月半展示することができた。

期日 令和3年11月 各施設へ制作依頼・材料配布

令和3年12月11日 学生ボランティア作業

令和4年1月15日 //

参加者 武雄市内障がい者施設・事業所利用者 86名

武雄看護リハビリテーション学校学生 18名

(4) 新入学児童「黄色い帽子」贈呈事業

市内小学校の新入学児童の交通安全と地域住民の見守りによる防犯を目的に、地域の方々のお祝いメッセージカードを添えて総数445個の黄色い帽子を贈呈した。

(5) 移動サービス・移送車貸出事業

公共の交通機関を利用した外出が困難な高齢者や障がい者を対象に、福祉車両(車い

ス搬送仕様自動車) を利用した移動サービスおよび福祉車両の貸し出しを行った。移動サービスの際の運転は、運転ボランティアが行い、令和3年度の登録者数は22名で、利用件数は移動サービスが145件、移送車貸出が5件であった。

(6) 「お互いさま活動」支援事業

地域の方々を交えて行う福祉のまちづくりを目的とした団体・グループの事業に対し助成を行う事業で、上限を10万円とし、申請のあった新規4団体に対し総額400,000円の助成金を交付した。

(7) 福祉教育の推進と体験学習指導

市内小・中・高校を対象として、福祉教育を推進し社会福祉への理解と関心を高めると共に、総合学習の一環として依頼があった市内小中学校へ出向き、「高齢者疑似体験3校」「アイマスク体験3校」「車イス体験3校」「手話体験1校」にて福祉体験学習を実施した。

また、今年度は福祉教育推進事業として障がい当事者の方をゲスト講師に迎え、2校にて新たなプログラム内容で福祉教育に取り組んだ。

(8) 市内最高齢者記念品贈呈

敬老の日にあわせて長寿を祝い、市内の男女それぞれの最高齢者に記念品を贈呈した。

【5】ボランティア事業

(1) ボランティア活動支援事業

① ボランティア活動実践校活動費助成金交付事業

市内の小・中・高等学校、14校に対しボランティア協力校として、活動費総額586,823円を助成し育成に努めた。コロナ禍で地域活動が思うように出来ず、5校が返金となった。

(小学校) 武雄小、御船が丘小、朝日小、若木小、武内小、東川登小、

西川登小、山内東小、山内西小、北方小

(中学校) 武雄北中、川登中、山内中、北方中

② ボランティアグループ活動費助成事業

市内のボランティアグループで、事業費の申請があった11グループ(13事業)(前年度比4グループ減・5事業減)に対して総額419,667円の助成金を交付した。

③ 障がい児者交流活動事業助成事業

ボランティア武雄「みふね55会」が実施する障がい児者との交流会・在宅訪問活動・遊具による交流活動に対し38,000円の助成金を交付した。

手作り遊具の会「あかとんぼ」は、自主財源で行うとの事で未申請。武雄市ボランティア連絡協議会は、武雄市身体障害者福祉協会との交流を予定していたが、コロナ禍で開催できず全額返納となる。

④ 「拝啓、お元気ですか」助成事業

地域の高齢者の見守り支援を目的とした事業を実施する市内ボランティアグループ等9団体に対し、事業費の助成金、総額815,000円を交付した。

(2) ボランティアセンター事業

ボランティア活動の活性化を図る為に、ボランティアの育成援助並びに地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び各種講座等を開催し、市民のボランティア意識高揚とボランティア活動の推進をおこなった。

① ボランティアコーディネート(相談・登録・情報提供)の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、ボランティア活動

の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

② ボランティア活動保険の受付

地域行事やボランティア活動などを支援するため、ボランティア保険の加入受付を行った。災害ボランティアセンター運営も行ったため加入者数が多かった。

ボランティア活動保険 加入者数 1122 名

③ ボランティア講座の開催

地域福祉確立にかかわるボランティアの拡充と資質向上、ボランティアの育成を図ることを目的に一般住民等を対象とした講座を開催した。

・手話講習会

令和3年度7月7日(水)～10月27日(水) 19:00～20:00

8月11日～9月15日まで災害ボランティアセンター運営のため5回休講し9月22

日より再開した。申込者は20名。今年度初めて手話動画を作成し受講者にプレゼントすると喜ばれた。

④ 市ボランティア連絡協議会への支援・協力

市ボランティア連絡協議会が開催する会議への参加と、各種事業への支援・協力をおこなった。

・広報誌の発行支援

⑤ ボランティア活動の広域的な展開

杵島・武雄地区ボランティア連絡協議会との連携を強め、合同研修などの活動を実施予定だったがコロナ禍のため開催されなかった。

⑥ 24時間テレビチャリティへの協力

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の為、街頭募金は中止し、8月豪雨災害のため募金箱の設置も行わなかった。

24時間福祉車両寄贈申込みの受付のみ行い、県社協へ送付した。

【6】安心安全なまちづくり支援事業

住民が地域で安心・安全に生活するための課題解決に向けた取り組みを支援する事業で、6地区へ助成金を交付した。

・東真手野区	東真手野集会所掲示板移設事業	79,000円
・甘久区	安心安全なまちづくり事業	109,000円
・小楠区	防犯啓蒙標語看板設置事業	80,000円
・追分区	自治会ボランティア見守り隊	47,000円
・武内町	ほほえみ館手すり工事	154,000円
・上西山区	入口注意喚起看板設置事業	200,000円

【7】武雄市社会福祉協議会会長表彰

令和4年2月5日(土)に令和3年度武雄市社会福祉協議会会長表彰を行った。

この表彰は多年にわたり社会福祉に貢献された方々を表彰するもので、17名2団体が表彰を受けられた。例年、武雄市社会福祉大会で表彰を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大により同大会を中止し、受賞者の皆様にそれぞれ表彰状をお届けした。

【8】福祉機器等貸出事業

社協で所有する車イスの無料貸出しを行った。貸出し件数は21件であった。

【9】災害見舞い

令和3年度中に市内で被災した世帯は、火災4件（全焼1件、半焼1件、死者2名）であった。罹災世帯に対し、市社協、県共同募金会、日赤県支部より見舞金品を届けた。

【10】災害ボランティアセンターの開設

8月11日から降り続いた雨により8月14日早朝市内が冠水し、1700件以上の住宅等が浸水した。

このため市民の皆さまの一刻も早い生活再建を目指し、8月17日（火）災害ボランティアセンターを開設した。8月21日（土）から旧北方幼稚園でボランティアの受け入れを開始した。また、コロナ禍でも安心してボランティア活動ができるように、期間中ボランティアとスタッフ全員に抗原検査を行った。

主な活動内容は、被災された家屋の清掃や片付け、被災ゴミの運び出しだった。ボランティアの依頼が収束したため、9月30日にボランティアセンターを閉所し、事務所で引き続き被災された方の困りごとの相談を受け付けた。

- ・ニーズ受付件数 590件
- ・ボランティア人数延べ1,443人（県内在住者に限る）
- ・活動件数 616件
- ・スタッフ延べ 1,015名
- ・支援金 1,630,000円（9件）

【11】脳イキイキ学習帳の販売

コロナ禍で自宅にいる時間に脳イキイキ学習帳を使って認知症予防に活用していただいた。一冊500円で617冊販売した。

7. 共同募金運動

【1】赤い羽根共同募金

10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施し、区長会、民生委員児童委員協議会ほか、市民の皆様のご協力をいただいて、多くの募金をお寄せいただいた。

募金種別	実績額（円）
一般戸別募金	7,087,000
法人募金	865,500
資材募金	574,300
学校募金	40,947
個人募金	16,083
その他	4
計	8,583,834

【2】歳末たすけあい運動

篤志募金、学校募金、街頭募金の総額69,276円に、社協繰出金をあわせ、市内の12施設に各21,500円、計258,000円を年末年始の行事に役立てていただいた。

- 《施設名》（福祉施設） シルバーケア武雄、くろかみ学園、すみよしの里、
 （就労支援施設A型） ワークショップ道の家、
 （就労支援施設B型） つくしのさと北方作業所、若楠、いぶき村、ゆめランチ、菜菜、LAUGHらふ、みふねが丘
 （地域活動支援センター） オアシスみふね

また、コロナの影響を受け相談に来られた方で高校生以下のお子さんがいらっしゃる33世

帯63名にお米とお菓子をお届けした。このお米は「いのちの糧事業」で市民の方からいただいたものである。

【3】義援金受付

・令和2年7月豪雨災害義援金

6,200円

8. 赤十字活動

【1】会員増強運動

区長会・婦人会のご協力を頂き、5月の赤十字運動月間に市内全戸に対し赤十字活動を支える会員としての呼びかけを行い、会員増強運動を実施した。多くの会費をお寄せいただいた。

	会員数	納入額 (円)
会費 (1口 600円)	14,238	8,542,800
寄附金 3件	-	35,229

【2】講習会等について

(1) 救急法講習会

中止 (コロナ感染防止のため)

(2) 水上安全法講習会

実施日 7月10日 (土) 9:30~11:30

会場 山内スポーツセンター、プール

内容 AEDを使った心肺蘇生法及び弱者救助法

参加者 23名 (子ども会、保育士、市プール監視員、一般)

(3) 災害救援講習会助成事業

災害救援の啓蒙や地域住民による災害時の知識や技術習得のための講習会に取り組む地区に対し、1地区20,000円を助成した。

【3】義援金受付

・令和3年8月豪雨災害義援金

33,451円

・ウクライナ人道危機救援金

11,030,304円